

令和 3 年 3 月 26 日

**【2020 年度資料展示】広島大学 原医研の 60 年
所蔵資料から見る原爆放射線医科学研究所の歩み**

- 会 場** 広島大学医学部医学資料館（広島市南区）
- 期 間** 2021 年 3 月 26 日（金）～ 4 月 16 日（金）
[時間] 10:00～16:00 [休館] 医学資料館に準ずる
※初日の 3 月 26 日は、午後（13 時）からの開館とする。
- 開 催** 1) 主催：広島大学原爆放射線医科学研究所
2) 共催：放射線災害・医科学研究拠点
（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
3) 協力：広島大学医学部

※来場方法： 新型コロナウイルス流行状況対応のため、事前に下記電話番号
にご連絡ください。
☎082-257-5877（資料調査解析部）入場無料

注意：新型コロナウイルス感染流行の状況による国・県・市の施策および広島大学の行
動指針等を遵守することを第一とし、そのうえでの開催を実行します。そのため、場合
により、上記の開催に関する事項は変更することがあります。

【企画主旨】

原爆放射線医科学研究所、通称「原医研」の前身である「原爆放射能医学研
究所」は、60 年前の 1961 年に設置されました。その更に前身の「原子放射
能基礎医学研究施設」は 1958 年に医学部附属の組織として出発しており、
これは、1954 年の第五福竜丸事件に象徴されるビキ二環礁水爆実験の問題を
きっかけとしています。

原爆投下の 1945 年から見ればだいぶ時間が経っている印象がありますが、
それは逆に、被爆者の医学的問題の長期化、晩発性の性格といった特徴や問題
解決の道のりの難しさと長さも示しているとも言えます。そういった被爆地・
広島での、医学研究の取り組みの機関の 1 つとして、原医研は設立されまし
た。

また、原医研は、日本にある他の医学研究所とは少し異なり、当初より「社
会医学」研究分野を置き、社会学的な視点も重要としていました。つまり、単
に科学研究のみを推進するのではなく、広島の子供の皆さんとともに歩もうと
する取り組みも見られました。

今回の展示では、普段あまり皆様にご覧いただくことのない所蔵資料を展示し、原爆被爆に関するこれまでの主な研究や、科学研究所としての社会における取組の一端をご紹介します。

【お問い合わせ先】

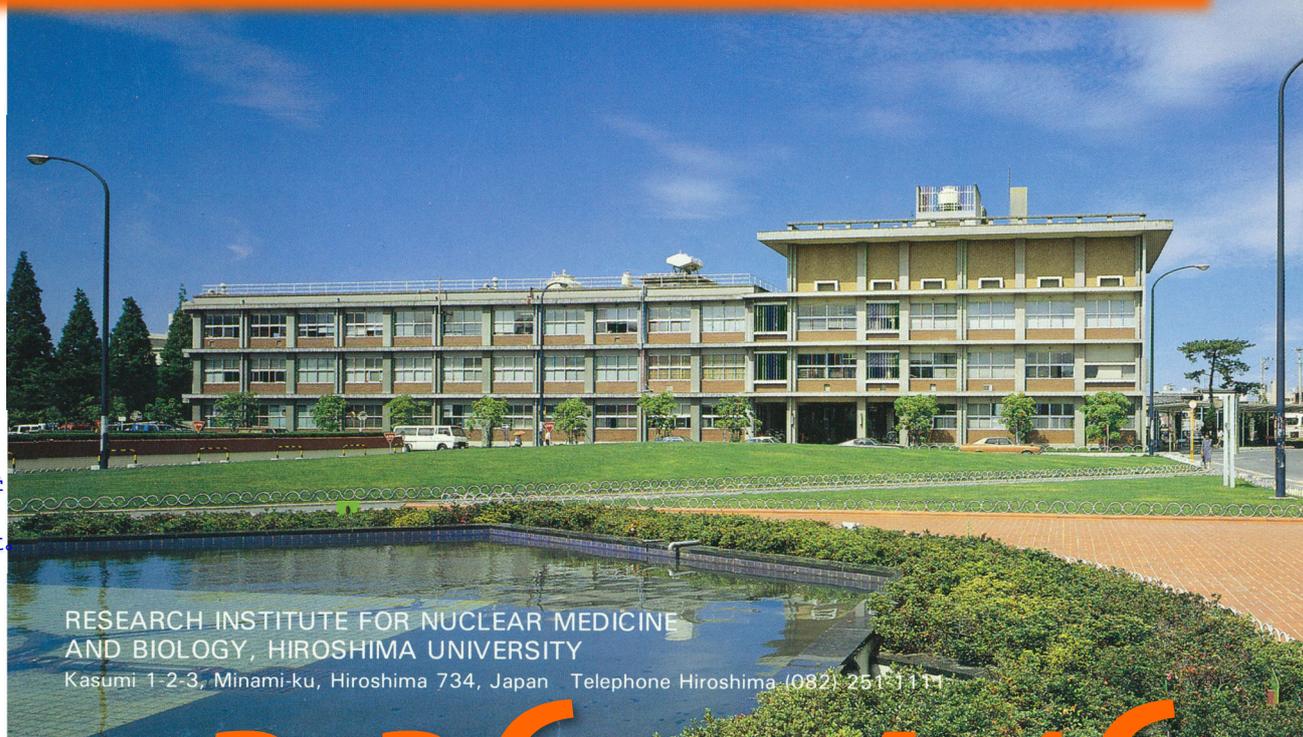
原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部（担当：久保田明子）
TEL:082-257-5877

広島大学

原医研の60年

所蔵資料から見る原爆放射線医科学研究所の歩み

在りし日の原医研
(1989年)
以前は、現在の大学
病院、YHRPミュージ
アムの近くにありました



RESEARCH INSTITUTE FOR NUCLEAR MEDICINE
AND BIOLOGY, HIROSHIMA UNIVERSITY
Kasumi 1-2-3, Minami-ku, Hiroshima 734, Japan Telephone Hiroshima (082) 251-1111

【期間】 2021年

3月26日(金) ~ 4月16日(金)

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

初日3/26のみ13:00~16:00

入場無料

【会場】

広島大学医学部 医学資料館

広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作

広島大学原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】新型コロナウイルスの流行状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。あらかじめご了承ください。

【来場方法】新型コロナウイルス流行状況対応のため、お手数ですが、事前に右記電話番号にご連絡ください。

事前予約 ☎082-257-5877 解析部事務

2021 年 3 月 10 日

広島大学 原爆放射線医科学研究所

附属被ばく資料調査解析部

広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部 2020 年度 資料展示 企画書

下記の通り、2020 年度の資料展示企画を提案いたします。

記

注意：新型コロナウイルス感染流行の状況による国・県・市の施策および広島大学の行動指針等を遵守することを第一とし、そのうえでの開催を実行するものとする。そのため、場合により、下記の開催に関する事項は変更することがある。

1. タイトル **広島大学 原医研の60 年**：所蔵資料から見る原爆放射線医科学研究所の歩み

2. 場所 広島大学医学部医学資料館（広島市南区）

3. 期間 2021 年 3 月 26 日（金）～4 月 16 日（金）
[時間] 10：00～16：00 [休館] 医学資料館に準ずる
※初日の 3 月 26 日は、午後（13 時）からの開館とする。

4. 開催 1) 主催：広島大学原爆放射線医科学研究所
 2) 共催：放射線災害・医科学研究拠点
 （広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
 3) 協力：広島大学医学部

5. スケジュール概要 [2021 年 3 月前半] 広報活動開始／展示設計確定／資料選定
 [2021 年 3 月後半] 広報活動重点化／展示準備
 [2021 年 3 月 26 日] 展示開始／随時広報活動
 [2021 年 4 月 16 日] 展示終了…片付け

7. 企画趣旨

原爆放射線医科学研究所、通称「原医研」の前身である「原爆放射能医学研究所」は、60 年前の 1961 年に設置された。そのまた前身の「原子放射能基礎医学研究施設」は 1958 年に医学部附属の組織として出発しており、これは、1954 年の第五福竜丸事件に象徴されるビキニ環礁水爆実験の問題をきっかけとしている。原爆投下の 1945 年から見ればだいぶ時間が経っている印象があるが、それは逆に、被爆者の医学的問題の

長期化、晩発性の性格といった特徴や問題解決の道のりの難しさと長さも示しているとも言えよう。そういった被爆地・広島での、医学研究の取り組みの機関の1つとして、原医研は設立された。

また、原医研は、日本にある他の医学研究所とは少し異なり、当初より「社会医学」研究分野を置き、社会的な視点も重要としていた。つまり、単に科学研究のみを推進するのではなく、広島の社会の皆さんとともに歩もうとする取り組みも見られた。今回の展示では、普段あまり皆様にご覧いただくことのない所蔵資料を展示し、原爆被爆に関するこれまでの主な研究や、科学研究所としての社会における取組の一端をご紹介します。

8. 展示構成案（2021年3月10日現在）

| 構成 | 主な展示資料 |
|---|--|
| 1. 「原医研」の設立 資料展示 | |
| 1-1. 原爆と広島大学医学部 1-2. 「被爆地・広島に放射線医学の研究所を！」 ：医学部附属原子放射能基礎医学研究施設 1-3. 原爆放射能医学研究所の設立 | * 医学部および広島市（原対協、後障害研究会など）の取り組みも併せて紹介 ・原医研設立時期の文書、刊行物等 |
| 2. 爆心地復元運動と原医研【初期（1960年代）の原医研の研究活動】 資料展示 初出あり | |
| 2-1. 復元運動について 2-2. 復元運動に取り組む原医研 2-3. 社会学的調査から被爆者の医学研究へ | ・復元運動関係の資料 ・湯崎資料 ・鎌田資料 |
| 3. AFIP 返還資料と原医研【1970年代以降の原医研の研究活動】 資料展示 初出あり | |
| 3-1. 接收された医学資料 3-2. 広島ものは広島へ：原医研を受け取った原医研 3-3. 日映が撮影した映画について | ・AFIP 返還資料：カルテ（レプリカ） ・AFIP 返還資料：写真 ・AFIP 返還資料：フィルム |
| 4. 原爆被災資料と原医研【原医研の資料収集事業】 資料展示 初出あり | |
| 4-1. 原爆の記録を守って記憶を伝える（1）被爆者の思い 4-2. 原爆の記録を守って記憶を伝える（2）研究の記録 4-3. 原爆の記録を守って記憶を伝える（3）寄せられる資料 | ・手記・証言等：解析部所蔵希少資料 ・志水資料、物理試料 ・京大資料 |
| 5. 原医研の今 パネル展示 資料展示 | |
| 5-1. 現在の研究 5-2. これからに向けて | * 拠点事業等の紹介 * 各研究分野の紹介 |

[担当]

広島大学 原爆放射線医科学研究所

附属被ばく資料調査解析部

助教 久保田明子

kubota07@hiroshima-u.ac.jp

082-257-5936

以上